１．件名： OECD/NEA CSNI WGRISK への対応方針に関する面談

２．日時：令和 3 年 2 月 15 日（月）13 時 30 分～15 時 30 分

３．場所：原子力規制庁 （オンライン開催）

４．出席者

原子力規制庁技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門　　濱口技術研究調査官、鈴木技術研究調査官

地震・津波研究部門　　呉統括技術研究調査官、佐藤技術研究調査官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構　3 名

原子力エネルギー協議会　1 名

一般財団法人電力中央研究所　1 名

５．要旨

① 原子力規制庁では、経済協力開発機構原子力機関原子力施設安全委員会（OECD/NEA CSNI）のリスク評価ワーキンググループ（WGRISK）及び OECD/NEA CSNI の外部事象ワーキンググループ（WGEV）の活動の一環として、複合ハザードのリスク評価に係る開発状況等を整理している。日本における対応方針について、事業者等と打合せを行った。日本における開発状況については、原子力規制庁、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（JAEA）及び産業界のそれぞれ整理することとした。

② 原子力規制庁では、OECD/NEA CSNI WGRISK の活動の一環として、確率論的リスク評価（PRA）の開発状況等を整理している。本ワーキンググループの年次会合が 3 月 2 日から開催されることから、その会合における対応方針について、事業者等と打合せを行った。原子力規制庁、JAEA 及び産業界における PRA の開発状況を各々が整理することとした。

６．配布資料

なし